

モズ

タカのように鋭いクチバシをもった小型の鳥です。背の色は、オスは青灰色、メスは褐色で、オスには翼に白いまだら模様があります。

全国に広く分布し、繁殖しています。農耕地・川原・原野・林縁など低木のある開けた環境に生息しています。餌は、昆虫やカエル、トカゲなどの小動物ですが、小鳥やモグラを捕らえることもあります。捕らえた動物を、鉄条網や小枝に刺す「はやにえ」の習性があります。

秋から冬にかけては、単独で縄張りを持ちます。この縄張りを守るために、高い木の梢などで「キィーキィー…」と高い声で鳴きます。

モズは、漢字で「百舌」と書きます。その理由は、繁殖期にシジュウカラやメジロなど他の鳥の鳴き真似をさかんにするからです。

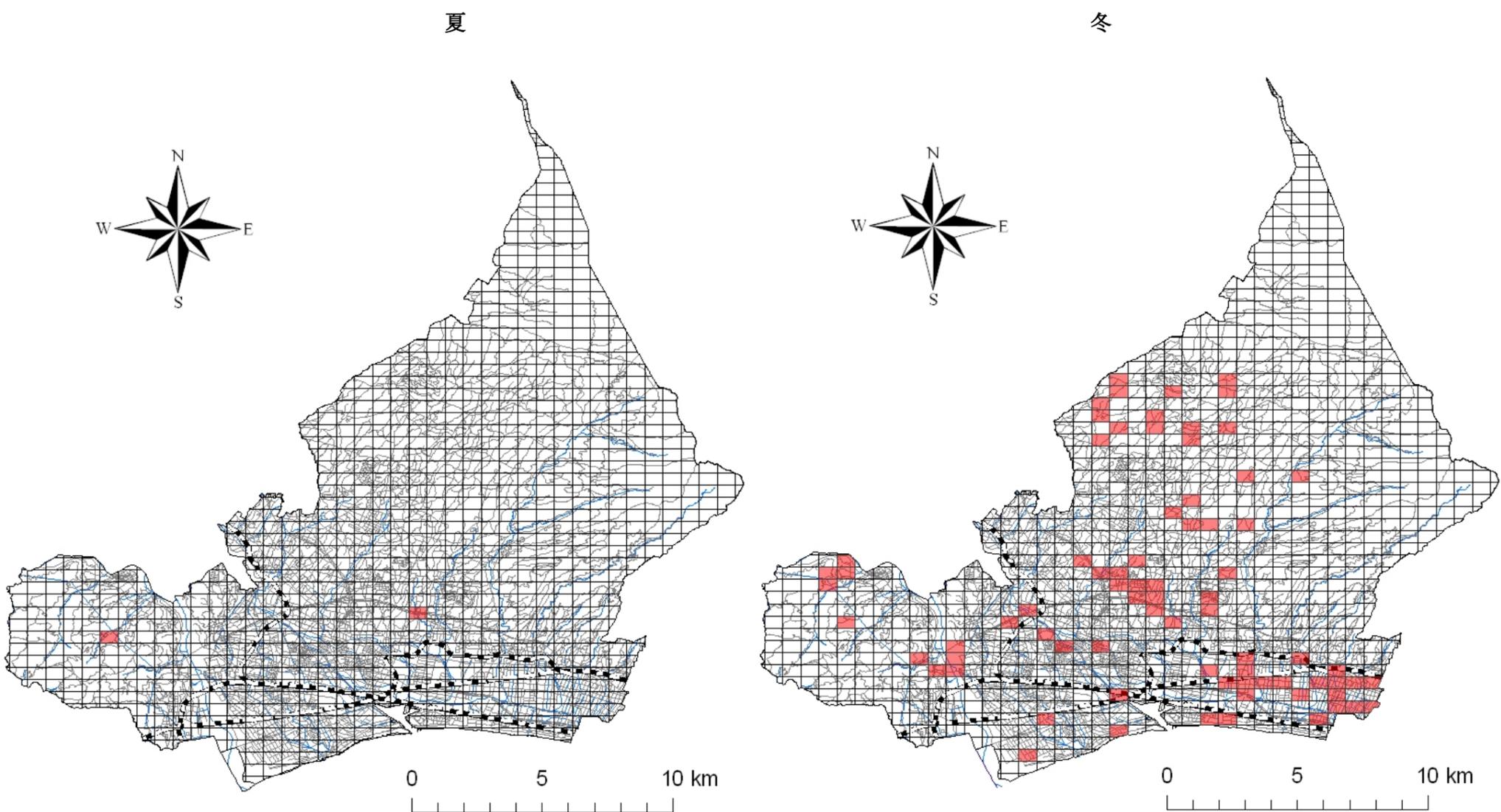
低木の茂みの枝に、細い枯れ枝や根を使ってお椀の形をした巣を作ります。最近では、ビニールひもやぼろ布などの人工物がよく使われています。



富士市の現状

海岸地帯から山地まで、市内全域に分布しています。秋から冬にかけては、高い声で鳴くので見つけやすいですが、繁殖期には目立たないようにしているため注意しないと気づきません。

モズを確認したメッシュ



※ 平成18年より調査しているため、日本測地系の2分の1標準地域メッシュを使用しています。